

## ～気分爽やか 中津川市石休牧場で放牧開始～

令和2年4月27日、中津川市石休牧場（中津川市山口地内）で市内の畜産農家から預かった和牛繁殖牛20頭の放牧が開始されました。

東美濃農協の家畜運搬車で搬入された牛たちは、牧場入り口に設置された管理施設（集畜用パドック等）で管理組合の生産者や関係機関の職員・獣医師による健康診断や病気予防のための駆虫剤の投与等を受けたのち、放牧されます。

牛たちは全て妊娠しており、高原の広々とした爽やかな牧場で牧草を食べながら今後の飛驒牛となる健康な子牛を生むために、分娩予定の約1カ月前ぐらいまでの間、牧場で暮らすことになります。

人間界では新型コロナウイルス感染症対策でステイホームが呼びかけられている中、気持ち良さそうにしている牛たちを見ていると、本当にのどかでうらやましくも思えてしまいます。

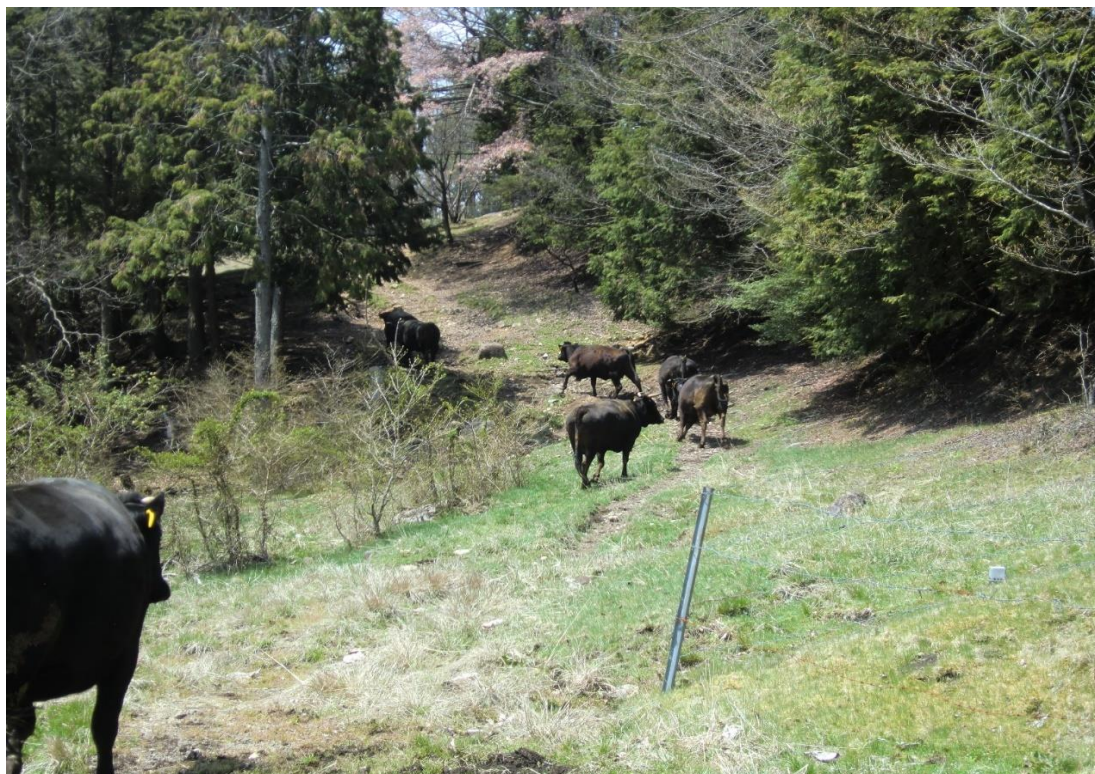
### 石休牧場の概要

- ・場所: 中津川市山口地内
- ・牧場面積: 11ha
- ・受入可能頭数: 最大約35頭(市内農家のみ)
- ・放牧期間: 4月27日～11月上旬
- ・飼養管理: 石休草地利用組合(山口地区の畜産農家で組織)



牧場管理施設で健康診断等を受ける放牧予定牛





健康診断終了後、放牧地へ移動していく牛たち



牛たちが放牧される放牧地